

2020 年 1 月から 2021 年 4 月 7 日までに新型コロナウイルス感染症で呼吸器内科に入院された方、
新型コロナウイルス感染症の患者さんで本学のバイオバンク事業にご参加いただいた方、
「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた COVID-19 ワクチンの開発と評価系の構築」の研究にご参加いただいた方、
2022 年 8 月までに本研究「COVID-19 感染症に伴う血管内皮障害の発生メカニズムの解明とその制御」にご参加いただいた方へ

本学の医学系倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得て、この研究を実施しております。

本研究に検体と診療情報を利用することにご了承いただけない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

また、2026 年 3 月の改訂で「(2)研究の方法について」の通り、新たに解析方法が追加されました。改訂前に、この研究にご参加いただいた患者さんで、新たに追加された解析方法についてご了承いただけないという場合には、下記の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

ご不明な点やご質問などございましたら、同様に、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1)研究の概要

- 現在パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症では血の塊が血管に詰まる血栓症や血管の炎症である血管炎様症状を伴うことがあります。当院では「COVID-19（新型コロナウイルス）感染症に伴う血管内皮障害の発生メカニズムの解明とその制御」研究（承認番号：G2020-034、研究責任者：保田晋助、研究実施期間：2021 年 4 月 7 日~2028 年 3 月 31 日）において日本人において重症化リスクを明らかにするために、血液細胞のタイプや遺伝因子を解析します。最も効率的な治療目的になり得る細胞集団とその発現分子について明らかにして治療法開発を行っていきます。

- DNA ゲノム解析やバイオマーカー、たんぱく発現解析、凝固因子解析を行います。
- 新型コロナウイルス感染症を患った方で、当院で治療を受け研究の趣旨を理解していただいた方にご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症治療薬の開発は緊急性を有するため、対象となる患者さんお一人ずつの書面あるいは口頭でのご同意取得前あるいはご同意いただく前に既存試料・情報を用いる場合があります。この掲示などによる患者さんへのお知らせをもって患者さんからのご同意を頂いたものとして実施される場合があります。

これには新型コロナウイルス感染症に罹患された際の下記検体があります。

- 2020 年 1 月から 2021 年 4 月 6 日までに東京科学大学統合呼吸器病学入院時に採取した検体
- 「新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいた COVID-19 ワクチンの開発と評価系の構築」（研究代表：慶應義塾大学 福永 興壺、本学 研究責任者 宮野悟、研究課題番号 G2020-004）研究で東京科学大学で採取した検体
- 東京科学大学疾患バイオリソースセンターバイオバンクで採取した検体

(3)試料・情報の保管／廃棄と、他の研究への利用について

- 検体とデータは東京科学大学にて保管します。検体にはそれぞれ研究用の符号をつけ、個人が特定されない形で処理・保管・送付されます。また、検体提供者の診療記録から得られる基本的な情報（年齢・性別・病歴（治療経過）・治療薬剤・採血データ・組織採取部位・手術術式など）を、個人が特定されることのない条件で、研究に使わせていただきます。これらの情報は東京科学大学の中のセキュリティーが確保されたコンピューターの中に、個人の特定ができない形で保存されます。
- 解析データは G2020-004 研究（コロナタスクフォース）と共有することがあります。
- 検体は研究期間終了後 10 年間保管して、その後に廃棄いたします。研究成果を公表する際に、データの一部は公共のデータベースに登録し公開をしますが、個人名は明らかにされません。本学では大学の方針により論文の根拠となるデータは発表後 10 年間保管することとなっています。

(4)予測される結果（利益・不利益）について

- この研究に参加することにより期待される利益：直ちにあなたに利益がもたらされる可能性はありませんが、本研究結果は新型コロナウイルス感染症の病態の解明に役立ち、新たな治療薬の開発や、診断・治療を行うために有用な検査法の開発などに寄与すると考えられます。

(5)研究協力の任意性について

- この研究への協力は任意です。研究に協力しないことによって、今後の診療で不利益な対応を受けることはありません。
- 検体及び診療情報の利用拒否のご連絡いただいた際には、提供していただいた検体やその検体を調べた結果は廃棄され、それ以降は診療情報が研究のために用いられることもありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合など、本研究で得た結果を破棄することができないことがあります。

(6)個人情報の保護・取り扱いについて

- 個人情報を保護するため、個人情報の取り扱いには慎重に配慮し研究を行います。研究従事者の間でも、研究対象者個人名はコード化（匿名化）致します。

(7)研究成果について

- この研究で得られた成果は、国内外の学会や学術雑誌およびデータベース上に発表する場合があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。

(8)解析結果のお知らせについて

- 遺伝子解析で得られる結果については、現在の遺伝子解析技術の不確実さ、膨大な遺伝子解析検査結果の説明・解釈の難しさを考慮し、基本的に個別の結果の説明はおこないません。しかし、あなたやあなたのご家族にとって重要であると思われる結果が判明し、診断・治療に有益と考えられる場合には、倫理審査委員会で審議・承認後、結果について説明を希望されるかどうか、あなたのご意向をおうかがいし対応いたします。

(9)遺伝カウンセリングについて

- 遺伝子解析を受けることへの不安やご質問がある場合には、診察を担当する医師が適宜ご相談に応じますので、遠慮なくお尋ねください。また遺伝カウンセリングのご希望があれば当院遺伝子診療科を紹介いたします（自費診療となります）。

(10)費用について

- この研究は研究費によって行われますので、患者さんに負担していただく費用はございません。また研究の協力に対して、報酬は支払われません。

(11)研究資金および利益相反について

- 本研究は（科研費 2025-2028 「動物モデルを活用した抗リン脂質抗体依存的病態のメカニズムの解明」・研究代表者 細矢匡）を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらう ことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものに

なっているのではないか・研究 結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(12)問い合わせ等の連絡先：

連絡先：東京科学大学病院（膠原病・リウマチ内科・教授・保田 晋助）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

03-5803-4773（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

※他の研究参加者の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができます。ご希望の際は、上記の研究者連絡先までお問い合わせください。

2026 年 3 月